



巡回指導つうしん

Vol.5

春号

令和7年4月発行(公益財団法人児童育成協会 子ども相談支援部 巡回支援課 TEL:0570-550-819)

4月は新たなこどもたち、そして保護者との出会いの季節です。保育所保育指針にあるように、保護者に対する子育て支援も保育施設の重要な役割の一つです。こどもの健やかな育ちのために、保護者との信頼関係を築き連携していきましょう。



巡回指導トピックス

「配慮が必要なこどもとその保護者との関わり方」については、巡回指導でよく聞かれている相談内容の一つです。今回は巡回指導員からの実際の助言例を紹介します。



遊びや生活の場面で気持ちを切り替えることが難しく、困っているように感じるこどもについて、どのように保護者に伝えればいいのでしょうか？



保護者



巡回指導員

保護者に伝えづらい場合もありますよね…

でも、保育者としての気付きを保護者に伝えることは必要です。

その際”保育者の関わり”&”こどものプラスのエピソード”をセットで伝え、保護者が聞き入れやすくなるかもしれません。

例えば、ずっと動き回っているこどもについて

『今日のお誕生会でお子さんの好きなシールを床に貼ってみたところ、そこに座って楽しそうに参加できましたよ』

…など、こどもの特性、保育者の関わり方、こどものプラスの姿を保護者へ具体的に伝えてみましょう。



「保育所保育指針 第4章 子育て支援」も確認しましょう！

ポータルサイトよりお申込みいただくことで優先的に巡回指導を実施いたします！ 巡回指導員は各施設の様々な状況に応じた助言を行っています。より良い保育を一緒に考えましょう♪



企業主導型保育施設

地域交流会を実施しました



企業主導型保育施設においては認可保育所に比べて施設間での交流が少ない傾向にあり、保育従事者同士の情報交換を求める声が多く聞かれます。そこで、同じ地域の施設間での情報交換等を目的とした交流会を開催しました。これは、各開催地域を主に担当している巡回指導員(仙台会場:齋藤巡回指導員、岡山会場:敷村巡回指導員)のコーディネートのもとで行われます。



宮城県
(仙台市)

仙台会場の参加者からは園児獲得や人員配置等に関する悩みについて、多くの声があがっていました。

齋藤巡回指導員からは「こども主体の保育を実践し、保育の質を高めていくことが園児獲得にも繋がる。」と話があり、参加者からは「これを機に改めて皆でより良い保育環境を目指していきたい。」という声が聞かれました。また、保育従事者同士だからこそわかり合える悩みや疑問について活発な意見・情報交換が行われ、終始和やかな雰囲気でした。

岡山会場では、参加者同士が自園の話をすることで「園を見学させてほしい。」「園庭に遊びに行かせてほしい。」など、繋がりが生まれていきました。

敷村巡回指導員からは過去に巡回指導で訪問した保育施設の好事例の紹介とともに、「企業主導型保育施設は比較的自由な発想で保育を展開することができるので、それぞれの特色を活かしていきましょう。」とメッセージがありました。



岡山県
(岡山市)

★地域交流会に関するお問合せは下記まで
(ナビダイヤル 0570-550-819 → 「1」を選択 → 「巡回支援課」まで)

*「巡回指導」「巡回指導員」という呼称は令和6年度時点の事業名によるものです

こども家庭庁 児童育成協会 (本事業は児童育成協会がこども家庭庁から運営を受託して実施しています)